

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

ワークショップ開始

(録音の同意をいただいて、録音開始)

木村：それでは、第 2 回のワークショップを始めます。皆様、ご参加いただきましてありがとうございます。

また、最後にもお話ししますが、本当は今週の木曜日に第 3 回を予定していましたが、講師の急な体調の悪化により、延期という形で、再調整させていただきたいと思えます。候補日がありますけれども、最後に皆様のご都合を聞きたいと思っています。

本日の資料を見ていただくと、簡単な前回の振り返り資料と、松尾先生の「電源別発電コスト評価の概要と主要な論点」という資料を入れていますので、それを見ながらお話を伺いたいと思えます。

前回の振り返りと今回の進め方

木村：本日の進め方ですが、最初に前回の振り返りをして、松尾先生からお話をじっくりいただこうと思えます。その後は Q&A と自由討論ということで、15 時に終了する予定です。



前回の振り返り

- イン트로ダクション
- ディスカッション
 - 「エネルギーの将来について考えるには」
 - ▶ エネルギーに関する自分の意見を紹介しよう
 - ▶ 2050年の社会はどうなっている？
 - ▶ これからの講義で聞きたいポイントは何か

木村：それでは、簡単に前回の振り返りをさせていただきます。こちらの資料をご覧ください。前回の内容を書かせていただいています。前回は、イントロダクションとディスカッションを行いました。

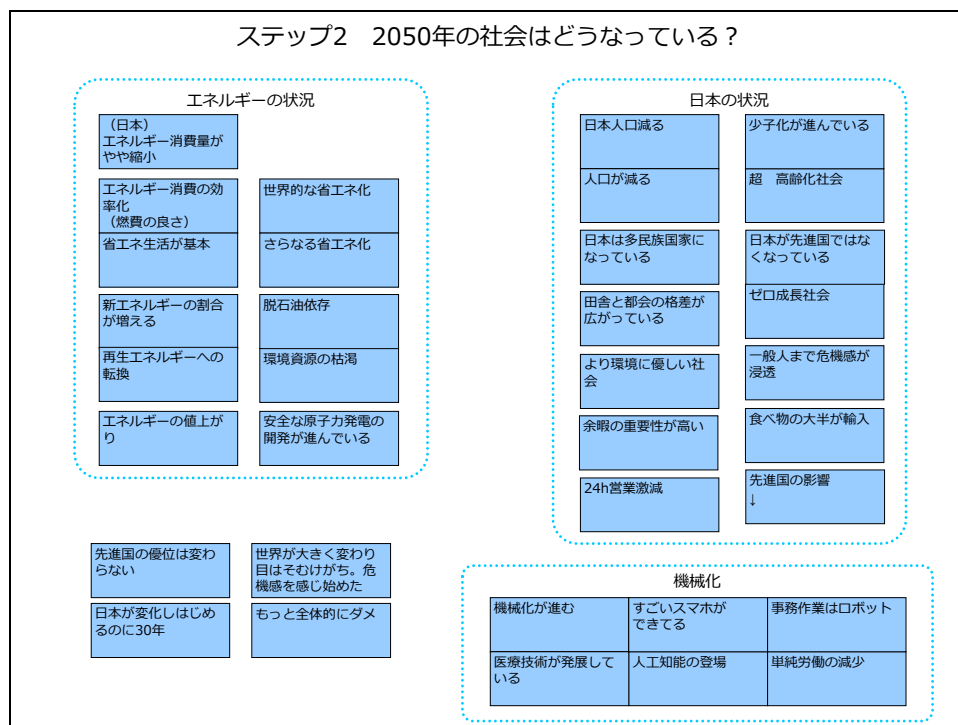
イントロダクションの中では、このプロジェクトの目的などをご紹介しました。

ディスカッションの中では、皆さんのお考えを紹介していただき、その上で将来のエネルギーを考えるとということで、そもそも将来の日本は、具体的には 2050 年の日本は、どうなっているのでしょうかということで、フリーにディスカッションしてもらいました。

ステップ1 自分の意見を紹介しよう

<p>〔重視する項目〕 エネルギー安定供給</p> <p>〔理由〕 使えないときがあると生活の役に立たない</p>	<p>〔重視する項目〕 エネルギー安定供給</p> <p>〔理由〕 工業的に使う電力がストップすることは経済発展と安全性を阻害する</p>	<p>〔重視する項目〕 エネルギー安定供給</p> <p>〔理由〕 ・消去法 ・安全性と環境は人工的 ・経済は何とかなりそう ・安定供給は不安定になると意味がない</p>	<p>〔重視する項目〕 安全性</p> <p>〔理由〕 原発事故の時に専門家から安全性が説明されなかった。安全が担保されないと持続しない</p>
<p>〔重視しない項目〕 経済性</p> <p>〔理由〕 ・人体や環境は破壊すると戻らない ・経済性は生活水準に影響するが</p>	<p>〔重視しない項目〕 環境適合性</p> <p>〔理由〕 ・他の3つは物差しがはっきりしている ・環境に関しては質的な問題が大きく1つの答えまで突き詰めるのが難しい</p>	<p>〔重視しない項目〕 経済性</p> <p>〔理由〕 ・福島を受けて安全性と環境の重要性を感じた ・経済については何とかなりそう</p>	<p>〔重視しない項目〕 経済性</p> <p>〔理由〕 ・どこまでが経済かわかっていない ・供給ができれば経済は回る ・コストが上がってもそれに応じて社会はかわる</p>
<p>〔重視する項目〕 エネルギー安定供給</p> <p>〔理由〕 ・生活を成立させるため ・原発が止まったときに不安を持った</p>	<p>〔重視する項目〕 経済性</p> <p>〔理由〕 財政的な厳しさが一番の問題</p>	<p>〔重視する項目〕 安全性</p> <p>〔理由〕 ・福島原発に関して感情的な不安 ・人体影響がわからない ・チェルノブイリや原発等</p>	
<p>〔重視しない項目〕 安全性</p> <p>〔理由〕 ・安全は断言できない ・リスクをゼロにしようとする活動は止まってしまふ</p>	<p>〔重視しない項目〕 環境適合性</p> <p>〔理由〕 ・安全性と安定供給の方が優先度が高い ・環境に対する技術はついてくる</p>	<p>〔重視しない項目〕 環境適合性</p> <p>〔理由〕 ・何かのエネルギーを使う際に副産物を出ざるを得ない ・副産物を何とかする技術はその後に解決していく</p>	

木村：2枚目のスライドには、ステップ1ということで、皆さんの意見を簡単にまとめています。こんなことを言ったなというのを確認してもらえればと思います。



木村：3枚目には、ステップ2で出てきた意見をまとめています。「日本の状況」や「エネルギーの状況」がどうなっているのだろうか。あとは、「機械化」が進んでいるのではないかという意見が主な論点として出ています。

これらの資料はホームページにも出ていますので、後ほど確認していただければと思います。

ということで、今回はイントロダクションと、皆さんの最初の立ち位置をお互いに共有していきました。今回から4回にわたり、「3E+S」の各分野において、講師の方々をお呼びして、情報をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

その第1回目として、本日は、日本エネルギー経済研究所研究主幹の松尾雄司さんにお越しいただいて、〈経済性〉について、その中でも特に「電源別発電コスト評価の概要と主要な論点」ということで、ご講義をいただきたいと思ひます。

講義の進め方ですけれども、1時間講義してもらって、30分Q&Aと思ひていましたけれども、その場その場でやっていきますか？

松尾：ええ、適当に話をしますんで、もし質問があったらその場で適宜してください。ただ、1時間くらいで押さえて、その後でまたQ&Aをしたいと思ひています。

木村：分かりました。そういう形で進めたいと思ひますので、聞きながら、ここはちょっとよく分からないというところがあったら、その場でどんどん聞いてください。これは今は聞けないなというものがあつたら、附箋にメモしておいてください。その場で疑問を消

化してもらっても構いませんし、後で聞くということでも構いませんので、そういうふう
に附箋も使ってもらえればと思います。